

高槻名誉市民を

14号

語り継ぐ会会報

平成27年6月1日

会報発行も14号となりました。ここまで続けてこられたのも皆様のご協力があった事の事と、厚く感謝申し上げます。今号ではこの会運営に係っている役員のご紹介をさせていただきます。

馬淵晴彦(会長)

高槻に住まいし50年になります。企業人生活も終え、地域のために働くことが最後の使命と考えております。功績のあった偉人を振り返ることにより、郷土の良さを認識し、誇りを持てる市民風土を確立できればと思います。“我が街高槻にはこんな素晴らしい人がいてまっせ!!!”。



村上寛(副会長)

磯村彌右衛門初代市長の生き様や歴史背景に強く惹かれ、当会発足当初から携わっております。普段は、タクシー運転手として市民皆様の足となり、お声を聞かせて頂いています。



登間佐孝男(事務局長)

昨年8月から当会に参加しています。大阪府高齢者大学同窓会では、高槻の広報IT部長として、同会の機関紙等の製作をしています。



【名誉市民を考える会】講座

磯村彌右衛門編の第三回「彌右衛門の金融業・高槻町成立」(5/11)と、第四回「大阪府会議長として」(5/25)が開催されました。

4月に開催された2講座では、彌右衛門の生い立ちから、大塚切れの経験を経て、政治の世界に身を投じていく過程を学びました。5月の2講座では、近代高槻の基礎を作った政治家として、経済人としての彌右衛門を学びました。

こんなにも郷土想いであり、民衆想いの政治家が高槻に居た事を、改めて認識すると共に、誇りに思うことが出来ました。彌右衛門編もいよいよ残り2回です。彌右衛門編最終章、一緒に学びませんか。

7月からは、高碓達之助編が始まります。企業家からスタートして、国際政治家に、その志はどんなものだったのか。初回7月13日は、達之助が設立した東洋製罐HD中井社長の特別講演があります。会場の関係で参加人数に制限があります。お早目に申し込みください。

磯村彌右衛門の講演記録が出来上がっています。ダイジェスト版ですが、フェイスブックとブログに掲載しています。一度覗いてみてください。

高槻の誇る名誉市民、知らないことが沢山あります。この機会に一緒に学び、語り伝えて行きましょう。



5月25日講座風景

産経抄

良薬は口に苦し、と俗に
いう。戦前戦後の政財界に
名を轟かせた高碓達之助は
三十路を超えて苦い薬を飲
んでいる。自身が創業した
東洋製罐の第1号工場を、「大阪
の北の方」(高碓)に建てた大正
時代の語り手。▼通勤の便を考
え、真面目馬車線(現阪急電
鉄)の小林一三に「沿線の家を売
つてくれ」と頼み出した。小林はピ
ンとねってつけている。「北の
方に工場を持つて、自分の家を北
の方に移すのはアホウなことだ。
南に住め、大阪の街を見て通え、
と、自伝にある。▼企業とは、社
の目が命綱になる。▼東京証券取

高碓達之助に関する記事
(5/31付産経新聞)

速報!!

【第4回高槻自慢トークリレー】

『高槻でも“エスペラント”は生き続け』と題して、高槻エスペラント会会長の浮田政治さんに、「エスペラント」を使った国境を越えての市民交流あれこれを語って頂きます。

日時:6/25(木)11:30~15:00

場所:花の里温泉「山水館」

会費:¥3,000

(講演・食事・温泉全て含む)

☆詳細はブログ・FBをご覧ください。



【名言集】

『積み重ねが美しい作品に』
とにかく書いて書いて書き続けるうちに、その積み重ねが技術が修練となり、美しい作品を生み出していく基になっていく。

(高槻名誉市民 村上三島談)

発行:高槻名誉市民を語り継ぐ会
ブログ
<http://blog.livedoor.jp/takatsukimeiy05/>
FB
<https://www.facebook.com/groups/167866516706202/>



高槻市マスコットキャラクター『はいたん』